

地方自治体の政策の検証と改善に向けた具体的提案

研究の概要

和歌山大学経済学部教育カリキュラムには、公共政策にかかわるさまざまな学問領域をクロスオーバーさせた授業科目によって構成される地域公共政策・公益事業プログラムがあります。このプログラムでは、専門をまたいだ複数の教員が「公共政策学」という共通のアカデミックな枠組みで毎年100名近い学生（2回生）を演習形式で教育し、様々な知的関心を持つ学生にかかわり、多様な政策問題への関心を「公共政策学」という共通の枠組みで分析・整理することで、学生相互で具体的な政策問題を解説したり検証してきました。

この講義科目にみられるように、経済学部の教員は労働政策、福祉政策、財政政策、観光振興施策など各分野にわたって地方行政の政策・計画作成から実施に至るまで関わっています。これからの地方自治体にとり、政策の客観的な検証を通じて広く一般に説明責任を果たし、また、限られた人的・経済的資源をより効果的に活用することは喫緊の課題であると思われます。それぞれの専門性を活かして、公共政策の検証と改善のためのお手伝いをさせていただきます。

研究の特徴

そもそも政策問題とは、多様な利害や考え方を持つ参加者が関与するため、現状の問題点やめざすべき目標についての合意すら存在しないこともあり、選択肢の優先順位やそれらの帰結についても不確実で予想の困難な「悪構造」の問題です。ゆえに、政策の効果や影響を客観的に検証して改善点を明らかにし、多様な参加者や地域住民との間で合意を形成し、政策への支持を訴えていくのは容易なことではありません。我々は、提供いただいた資料や関係者への聞き取り・アンケート調査を通じて第三者の視点で政策を客観的に検証し、今後の発展の方向性を示唆できればと考えています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

大澤健：和歌山県内および県外の観光基本計画の作成、その実施に関するアドバイス、成果検証。

藤木剛康：和歌山県の梅産業の調査、和歌山県への観光客に関する調査。

研究者からのメッセージ

条件に合わせて複数の教員で対応させていただいたり、指導している学生や院生の協力を得ることでより充実した調査を進められるように手配いたします。

研究分野：公共政策論、政策過程論

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学経済学部 経済学科・教授・大澤健、准教授・齊藤仁、藤木剛康

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp